

PTA『情報交換会』を開催しました！！

7月9日、「在学中と卒業後の生活」をテーマに、一般企業就労と福祉的就労をされた、それぞれの卒業生保護者の方から、体験談を2グループに分かれ、情報交換会を開催しました。

第1分科会～一般就労の体験談から～

第1分科会では、栗澤真樹様より一般就労に関する体験談を伺いました。在学中は自転車やバスで通学し、将来に備えて電車に乗る練習も行っていただけが紹介されました。仕事の内容についても具体的に話していただき、実際の業務や日常生活の様子を知ることができました。一般就労を選んだきっかけは、両親がさまざまな選択肢を示し、その中から本人が「何がしたいか」を考えて選んだことだと語られました。子どもの意思を大切にしながら進路を決めていく姿勢が印象的で、今後の支援のあり方を考える上でも多くの学びがありました。



第2分科会～福祉的就労の体験談から～

第2分科会では、小寺早苗様から福祉的就労に通所されているお子様の生活についてお話を伺いました。卒業後の進路を考える際に「好きな友達と同じ作業所」「情報収集」「居場所を作る」「見学・体験」が、大切であると説明してくださいました。また「健康管理」「生活リズム」を念頭に、親がキャパオーバーになりすぎない就労先にする事が、とても大事とお話しいただきました。そして最後に在学中に、児童精神科にかかる事が大切であるとアドバイスいただきました。就労に向けて、大変参考になるお話を伺うことができました。



特推連『自立と社会参加の推進会議』参加報告

体験発表1人目の小坂優奈氏から「自立と社会参加を目指して」というテーマで、社会人になって警備会社に就職して現金を扱う仕事に携わり、やりがいを感じ生き生きと生活されているお話が特に印象的でした。2人目の宇佐美道氏からは「障害者が地域で暮らすということ」というテーマで、1人暮らしをするまでの葛藤と始めてから10年間の体験を細かく話していただき、大変さが伝わりました。講演していただいた中野まこ氏は自立をテーマにしたお話でした。そのお話と体験談から地域とのつながりも大切だととても勉強になりました。(8月22日出席)

全国特別支援教育知的障害教育校PTA連合協議会 参加報告

全国研究協議大会に参加しました。シンポジウムのテーマは「ウェルビーイングは自己選択自己決定から」。春日台PTAのOB林ともみさんもシンポジストとして登壇されました。親として、非常に感じ入る内容でした。ウェルビーイングとは誰もが主体性を持って生きること。できる・できないではない。夢や希望が背景にあること。経験の機会・場の創出。したいこと、行きたいところ、出会い等、納得ある人生を共に考えていくこと。人との間で丁寧に経験を積み重ねて、決定する力をつけていくことの大切さを感じた大会でした。(8月23日出席)

東海地区特別支援学校知的障害教育校PTA連絡協議会 参加報告

9年前に熊本地震があった際、熊本支援学校に福祉子ども避難所を開設した経験を当時校長だった栗原さんに聞きました。当初は避難所ではなかったのですが、保護者からの要望が多く開設に至りました。現在では市内8校に福祉避難所を開設できるようになっています。本校に置き換えてPTA執行部で話し合うと道路が寸断されたときの交通手段をどうするかやスマートフォンの電波状況が普段から悪い事、夏の暑さや冬の寒さをどう乗り切るか等の問題点が多く上がりました。愛知県や春日井市と連携をとりながら、考えていく必要があると感じました。(11月14日出席)

ゆりの木150号発行 三月	広報活動	卒業記念コンサート二月十八日	研修活動	バザー(各部授業参観当日) 十二月十五日～十八日	事業活動	令和7年度 PTA活動予定
------------------	------	----------------	------	-----------------------------	------	---------------